

# 自己評価結果公表シート

令和3年度  
社会福祉法人 三愛福祉会  
志茂保育園

## ☆園概要☆

令和2年度より、北区指定管理園として運営開始しました。

## ☆法人理念☆

一人ひとりの子どもが  
心より愛されていると実感し  
安心した日々を過ごし  
生きる力、将来への夢と希望が  
支えられ育まれる  
子育てを通してすべての人々の  
自己実現をねがい  
ニーズを先駆的に取り組み  
ともに歩み  
未来を創っていく

## ☆私たちの価値観☆

- ・常に最高の教育・保育内容を学んでいきます。
- ・日々最高の教育・保育実践を追求していきます。
- ・子ども、保護者、職員、地域の笑顔を創ります。
- ・地域社会の幸せに貢献します。

## ☆私たちの目標☆

1. 持続的成長法人を目指します。
2. 心からのファンを持つような、地域から支持の高い法人を目指します。
3. 職員とその家族が誇れる、職員満足の高い法人を目指します。
4. 自法人らしさを大切にしていると思われる、個性あふれる法人を目指します。
5. 地域や社会からなくてはならないと思われる法人を目指します。

## ☆一人ひとりが大切にすること☆

- ①コミュニケーションを通して、開かれた正直な人間関係を構築しよう。
- ②チームで創り上げる力、お互い様の気持ちを育てよう。
- ③情熱と継続する意志を持つよう。
- ④成長と学びを追求しよう。
- ⑤謙虚さを忘れずに。
- ⑥変化を受け入れて、前向きに原動力

## ☆基本理念☆

【安心そして信頼すべては子どもの最善の利益のために】

## ☆基本方針☆

- ・子ども達が望ましい未来を作り出す生きる力の基礎を培います。
- ・愛情いっぱいにあたかく受容し、信頼感や自己肯定感を育てていきます。
- ・日光、空気、土と水を大切に、子どもが育つ場にふさわしい施設設備に努めます。
- ・一人ひとりの子が、力いっぱい、精いっぱいの生活ができる楽しい園づくりを目指します。
- ・保護者や地域の人達に好かれ、信頼され、地域の団体や諸機関にも開かれた園づくりを目指します。
- ・地域社会の一員として園に関わるすべての人々の自己実現につながる活動を目指します。

## ☆保育目標☆

友達と仲良くできる子                      からだの丈夫な子  
一生懸命がんばる子                      よく考え行動する子  
思いやりのある子  
「たくましい体と心豊かな子どもの育成」をめざして子ども一人一人が、楽しく充実した生活を送れるように努力する。

❖令和3年度重点的に取り組む目標❖

1. 保育の質の向上のための目標計画

目標:グローバル時代だからこそ人間らしさが育つように又、多様性を大切にする保育を目指す

- ・保育内容として 保育指針、そこから作られている全体的な計画、子ども一人一人をよく理解する。
- ・人財育成として 保育をする上での心構えやチーム保育、サーバントリーダーシップなどを深めていく。
- ・保育環境として 保育室のレイアウトやいろいろな場所での体験活動などの工夫、プロセスの見える化を進めていく
- ・組織運営として クレドの浸透・職員間の関係性の重視

2. 保護者・地域共育で目標計画

目標:保護者・地域に向けてもっと情報発信して子育てのすばらしさを共有する。

- ・保護者の方に向けて 日常の様子を配信したりして安心してもらう。
- ・地域の方に向けて 掲示板を設置し園の情報などを掲示していく。
- ・地域ニーズの把握 地域ボランティアの方や近隣の方からの情報などを参考に考えていく

3. オペレーション改善目標計画

目標:ICTを活用し、園だより・クラスだより・ほけんだよりなどのお便りを配信する。

- ・時間の有効化を図る。

4. SDGsが実感できる活動の実践（子ども）17項目のうちどこに焦点をあてるか

【3 すべての人に健康と福祉を】

【12 つくる責任、つかう責任】

17項目あるSDGs世界共通の目標は1つ1つ単独ではなくつながりがある。将来世界的に抱えている問題を子どもたちが自分事として寄り添える気持ちの土台作りにつながっていくようにする。

❖評価項目別の達成及び取組状況❖

項目	取組状況
保育の質の向上のための目標計画 保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳児ではアタッチメント形成を大切に、自分が大切にされていると肌で感じてもらえるような取り組みを保育の中に取り入れました。</li> <li>・1歳児では子どもたちが“好き”を見つけて“やってみたい”という気持ちを大切にたくさん引き出し、少しでもやる気が引き出せるような取り組みをしました。</li> <li>・2歳児では子どもたちのやりたいことを自由に楽しむことを重視しそれぞれの個性・興味を伸ばしていき、集団で遊ぶことの意味や楽しさを伝えていけるよう取り組みました。</li> <li>・幼児クラスではいろいろな考え方、やり方を伝えていき(体験や人との関わりなどを通して)知っていることやできることを少しずつ着実に増やせるような取り組みや、やってみたい・試したい気持ちを大切に保育をしてきました。心身ともに充実できるように体幹を鍛える取り組みや音楽リズムや言葉での表現活動、お友達と協働して作り上げる楽しさなどを体験し自分も相手も大切にできる取り組みをしてきました。</li> <li>・行っている保育が社会とつながっていることを実感するために地域の色々な資源の利用や交流を増やしてきました。その中で、社会との関りや規範意識の芽生え、自然とのかかわり、道徳性など戸外活動の幅が広がるきっかけができました。</li> <li>★先生方の試行錯誤や創意工夫で行ってきた保育の中で子ども達が伸び伸びと心豊かに育っていると実感しています。令和3年度取り組んでもらった保育が来年度以降も継続してつながっていくようにしていかなければと思っています。</li> </ul>
保育の質の向上のための目標計画 人財育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育をする上での心構えとして先生方一人一人に振り返りをしてもらいました。それぞれの考え方やこうしていきたいという思いが実際の保育で活かされるように目指して行っている保育を全体に共有してきました。</li> <li>・チームで保育として色々なことを先生方でよく相談してコミュニケーションをとって行っています。相談して行うことは大切だと</li> </ul>

	<p>思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバントリーダーシップの考えとして上から指示するというのではなく同じ目標に向かって先生方の考えや思いを大切にしながら引き出せるように考えてきました。何が自信をもって良いことで、何が課題なのか一人一人が自分で考えられるように導き一緒に取り組んでいくことが主体的な先生方の質の向上だと思っています。今後も意識していきたいと思っています。</li> </ul>
保育の質の向上のための目標計画 保育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室のレイアウトとして子どもたちが自由にやりたいことがやれるようにおままごとコーナー・ブロックコーナー・絵本くつろぎコーナー・机上コーナーを準備し、色々なおもちゃがやりたいときに自由に取り出せるようにしています。好きなことを自由に取り組めることで子どもたちが落ちついて遊んでいると実感しています。</li> <li>・色々な場所での体験活動として保育室だけでなく廊下でコンピカーレースを行ったり、多目的室でアスレチック(トンネル・平均台・マット・すべり台など)遊びを行って四肢を刺激する運動遊びをしたり、戸外へ出て行って色々な大人に出会ったり、自然体験をしたりなど大好きな場所や遊びの種類が広がっていることを実感しています。</li> <li>・保育者も保育環境の一つとして一人一人の子どもたちに愛情を持って接してもらっています。子どもたちとのアタッチメント形成や信頼関係はとても重要だと思っています。</li> <li>・プロセスの見える化として保育室のレイアウトや体験活動などは計画に反映してもらって深化、承認の話し合いの中で見える化しています。又、異年齢児との交流を活発にすることで子ども同士、職員同士の交流も深まりお互いの行っている保育の見せあいができていたと思います。クラスで行っている保育のプロセスを映像で撮ってということは現在難しく進んでいない状況です。見直しが必要だと思っています。</li> </ul>
保育の質の向上のための目標計画 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレドの浸透としてクラスにおじゃまして先生たちの保育を見せてもらって法人の理念や方針に絡めて良いところやがんばっている様子を先生方全体と共有するようにしました。目安としていた頻度に関しては課題と考えています。見直しを行っていかれたらと思います。</li> </ul>
保護者・地域共育で目標計画 保護者の方に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度はクラス懇談会に向けて子どもの様子や重要事項説明を動画で配信したり、面談を6・7月に1回、2・3月に1回行うことにしました。(2・3月はコロナの影響で希望者のみとなってしまいました。又、子ども一人一人のお誕生日のお祝いを動画で配信しダウンロードできるようにしました。園舎のつくりや近隣の方への配慮の関係から園内に入って子どもたちの普段の様子を見てもらえないことが課題となっています。近隣の施設や公園を利用しながら進めていきたいと思っています。</li> </ul>
保護者・地域共育で目標計画 地域の方に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板の設置を行い園の情報は掲示することができるようになりました。園のチラシやほけんだより、子育て支援事業のお知らせなどを掲示しています。</li> <li>・引き続きのものとして地域向けの園だよりを毎月発行し、園の様子をお知らせしています。地域の方には小魚を見せてもらったり畑を見学させてもらったりして大変お世話になっています。この関係性を崩さないようにこれからもしていきたいと思っています。</li> </ul>
保護者・地域共育で目標計画 地域ニーズの把握と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の絵本の読み聞かせのボランティアの方との交流や未就園児の子育てママとの“遊ぼう会”を通じた交流を通して子育て世代・熟年世代の方のニーズを把握していけたらと思います。信頼関係はまだまだですので、今後ともよい関係性づくりをしていくことを継続していきたいと思っています。</li> </ul>
業務・オペレーション改善目標計画 時間の有効化を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の有効化を図ることとして配信に関して色々試みましたが制約があり難しく現実的にできなかったことが多かった課題です。見直しを行っていかれたらと思います。</li> </ul>
SDGsが実感できる活動の実践	<p>【3すべての人に健康と福祉を】</p> <p>心身ともに健康であることが大切。たくさん遊び、おいしい給食をおかわりをしてよく食べ、お昼寝をし過ごせていると思います。愛情</p>

いっぱい子どもたちへの関わりの中で子どもが愛されていると実感し続けられることは大切と思っています。これからも引き続き気持ちの豊かさの土台づくりをしていけたらと思います。

【12つくる責任、つかう責任】

栄養士の先生が給食の時間に各クラスを回ってくれています。給食を作っている先生が見に来てくれていることで、給食を作ってもらっている先生への感謝の気持ちを持ち、おいしくおかわりをしてたくさん食べています。

制作などの楽しい体験活動をする中で空き箱やペットボトル、紙パックを使っています。又、職員間では園内で使用するものは裏紙を使うなどし、子どもも大人も物を大切にすることや無駄にしないことを実感できる環境づくりをしてきました。

★職員一人一人が自己評価をしてみたの総合評価結果★

保育計画の立案・深化・承認を行うことで保育の充実につながっている。

それぞれの職員の創意工夫が保育計画に反映されていた。

それぞれの職員が自己評価することで、個々の課題を具体的に確認することができた。

★今後取り組むべき課題★

1-1, 保育内容

今年度取り組んでもらった保育が来年度も継続して、1年ごとに区切れてしまうのではなくつながっていくようにしていかなければと思っています。

1-2, 人財育成

先生方の行っている保育の良さを見える化していくことが不十分だと思っているので今後も継続していきたいと思います。

チームで保育するにあたり今後も色々な先生方の考え方が全体として相談、話し合いができるようにしていきたいと思います。

サーバントリーダーシップの考えとして何が自信をもって良いことで、何が課題なのか一人一人が自分で考えられるように導き一緒に取り組んでいくことが主体的な先生方の質の向上だと思っています。みんなに浸透していけるように今後も意識して行っていきたいと思います。

1-3, 保育環境

プロセスの見える化としてクラスで行っている保育のプロセスを映像でとってということが現在難しく進んでいない状況です。見直しや変更が必要だと思っています。

1-4, クレドの浸透

目安としてあげた頻度について課題と感じています。見直し変更をしたいと思います。

2, 保護者・地域とも育て

・保護者の方に向けて 園内に入って子どもたちの普段の様子を見てもらえないことが課題となっています。近隣の施設や公園を利用しながら進めていけたらと思います。

・地域の方に向けて

関係性を崩さないようにこれからもしていきたいと思います。

・地域ニーズの把握と実践

信頼関係はまだまだこれからですので、今後とも地域とは良い関係性づくりをしていくことが課題となります。

3, 業務・オペレーション改善

配信に関して色々試みましたが、制約があり難しく現実的にできなかったことが課題となっています。

4, SDGsが実感できる活動の実践

まだまだやれることはあると思います。これを機に工夫できることを子どもたちと一緒に取り組んでいきたい。

★令和4年度に向けて重点目標★

令和3年度を引き続き継続していくことを目標とし、「人材育成」「組織運営」に重点目標とします。



